

# 謹賀新年



「もっと議論する議会」へ

甲賀市議会議長 林田 久充



甲賀市をさらに前へ

甲賀市長 岩永 裕貴

新年明けましておめでとうございます。  
皆様には、輝かしい新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。  
昨年中は市政全般にわたり、温かいご理解ご協力をいただきありがとうございました。

私自身、市長2年目の新年を迎えました。あらためて就任当時の初心と市政をお預かりすることへの重責を心に刻み、市民の皆様の負託にしっかりと応えしていく決意であります。本年も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、少子高齢化に的確に対応し、人口減少に歯止めをかけるため、「まち・ひと・しごと創生法」が施行されて今年で5年目を迎えます。本市におきましても、昨年策定した第2次甲賀市総合計画に基づき、「子育て・教育」、「地域経済」、「福祉・介護」の3つのテーマに沿った10のプロジェクトを積極的に推進しながら10万人都市をめざしてまいります。

しかしながら、行政は万能ではなく、その実現に向けては、地域課題に対する市民の皆様の主体的な取り組みや、郷土への愛情や誇りに裏付けられたまちづくりへのご参加が大変重要であります。そのため、平成30年は市民の皆様と行政との協働による「オール甲賀」のまちづくりをさらに推進し、市民活動を積極的に応援してまいります。

また、コスト削減や公共施設の適正配置など、健全な行政経営に不断の努力を惜しむことなく、本市の未来像である「あい甲賀、いつもの暮らしに『しあわせ』を感じるまち」の実現に向け、着実に取り組みを進めてまいります。

本年も市民の皆様が顔が見え、声が聞こえるところに出向き、甲賀市職員も一丸となって合意形成と信頼関係を築きながら、全力で走り続ける覚悟であります。何とぞ力強いお力添えを賜りますよう、お願い申し上げますとともに、市民の皆様お一人おひとりにとりまして素晴らしい1年になりますことをお祈りいたします。

新年明けましておめでとうございます。  
皆様には、輝かしい新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、市の庁舎が、行政サービスの拠点として新しく整備され、甲賀市議会も、10月の市議会議員選挙の結果、定数27名から24名となりました。新しい場と新しい体制で甲賀市議会の次のステージが始まりつつありますが、「行政・議会の市民化」も重要だと感じます。

人口減少社会における地域経営は、行政力とともに市民力、地域力の向上をめざし、そのことそのものが、まちの活力や魅力となる時代です。地域で支えあい、自立したまちづくりの仕組みづくりは、行政にも、地域にも求められています。もちろんそのためには議会力も成熟する必要があります。

私たち議員は、地域の代表であるとともに、甲賀市の住民の代弁者です。身近な市民の困りごとを解決しながら、地域の課題を「オール甲賀」の課題として解決することが重要です。

また、議会は、行政、市民の提案等に対して、「何が問題か」を徹底して議論し、より良い行政サービスとなるよう今までの以上の「議論」が必要だと思えます。そして、市民や専門性のある経験者等の知恵を十分踏まえ、市長等と適切な緊張感を持ち、議会として、より市民福祉の向上、市政運営に責任を持つこと等に努力してまいります。

市長が描くランドデザインに対して、私たち議員が集める市民の願い、想いを含めて形としていくために、より開かれた議会として、議会への「市民参加」「情報公開」にさらに努めますので、皆様からの議会に対する提起等よろしくお願ひ申し上げます。

平成30年が、市民の皆様にとって幸多き年となりますよう議員一同心より祈念申し上げます。